

-----3月23日-----

## 今週のアウトルック（3/23～3/27）

先週は前半、ドル円は99円目前までドル高が進みましたが、FRBの米国債買い取り報道を受けて下落方向へ向かいました。94円目前まで下落したのち、週末の買い戻しを中心に一気に96円超えまで上昇しました。

今週月曜日は朝方から日経平均が大きく上昇しています。その動きに合わせるかのようにドル円、クロス円ともに上昇して始まりました。この動きを継続してドル高傾向を持続できるか否かは、株価の動きにも大きく影響されそうです。

基本的にドル円は、94円から99円レンジに収まりそうですが、97円あたりを超えるかどうかで、99円程度までドル高が進むか、それとも97円を超えられずに再び94円あたりまでのドル安を目指すかは決まりそうです。

ユーロは東欧の経済危機緩和状況から、ユーロ高が続いています。目先1.4を目指すという予測もありますが、1.375あたりをピークに下落してしまう可能性も考えられます。ユーロ円も上昇トレンドが少し長いために、そろそろ一服してもよいころかなと思います。125円から135円あたりまでの範囲に落ち着くのではないかと考えます。

ポンド円はドル円との連動性が少し高くなっているようなので、ドル円次第といったところはあると思いますが、140円を大きく超えて上昇することは少し難しいように思います。135円から140円あたりまでのレンジを想定しています。

年度末要因で、特に材料がなくても乱降下する可能性はあります。月曜日の午前中の時点で日経平均が大きく上昇していることも、逆に波乱要因になる可能性も考えられます。8000円あたりから一気に7500円あたりまで下落してしまうようなことがあると、円高も一気に進んでしまう可能性を考えておく必要もあるように思います。

## システムトレード的アドバイス

### 「勝ってる人は負け方がうまい」

トレード成績が良い人は高勝率を維持している、というような一般的な認識があるようです。ところが実際に勝ち続けている人の話を聞いてみますとそうでもないことがわかります。

確かに高勝率を維持している人もいますが、勝率50%程度でも良い成績を維持できる。つまり損小利大をより重視して、利益を積み重ねていくということが大切のようです。

ここでのポイントは負け方がうまいということです。誰でも相場の動きが予想に反してしまうことはよくあるのですが、その時の判断と見切り、撤退方法が非常に優れているということのように思います。

「負けるときはきちんと負ける、そして損失はできるだけ小さく」

これは簡単なようでなかなかできないのかもしれませんが。

「勝ち続ける極意は負けかたにあり」とは戦国時代の武将と変わらないのかもしれませんが。徳川家康は負け方、撤退の方法が一番うまかった武将のようです。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。